

単元名 4 状況の中で ー故郷

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 文学作品を詠むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気付くことができる。
 (2) 自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んだりして、作品のもつ特性や価値を探ることができる。
 (3) 粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとする。

標準的な展開例

12210202_001

【準備等】国語指導CD, 再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 作品を通読し、作品の設定を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本教材の学習の見通しをもつ。 ○ 作品の舞台や時代背景を確認する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 作品の設定を捉えよう。 ○ 作品を通読する。 ○ 現在の場面と「私」の回想の場面を確認する。 ○ 「私」と他の登場人物との関係を整理する。 <p>3～4 場面や登場人物の設定に着目して読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の概略を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 ★ 場面や登場人物の設定に着目して読み取ろう。 ○ 回想の場面と現在の場面とを比べ、描写の変化を読み取る。 ○ 「ルントウ」と再会した場面で「私」が感じた「悲しむべき厚い壁」とは何か、考える。 ○ 最後の場面で「私」が抱く「希望」や、望む社会とはどのようなものかを捉え、「私」の考え方について自分はどうか考えるか、話し合う。 <p>5 作品を批評する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 作品を批評してみよう。 ○ 「批評の観点」の事柄について、自分なりの評価を下す。 ○ 作品のもつ特性や価値について批評する。 ○ 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもたせる。 ・ 国語便覧や社会科資料集などを準備させ、調べさせるとよい。 ・ 教師による範読か、国語指導CDを利用して聞かせる。 ・ 新出漢字や難語句をチェックさせながら聞かせ、意味を調べさせる。 【評】 難語句を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 「展開のしかたを捉える」(p. 24)を参考に、作品の展開のしかたを捉えさせる。 ・ 「文学的な文章を読むために」(p. 232)の②設定を参考に、人物相関図などを使って、人物同士の関係や、人物が果たす役割を整理させる。 【評】 人物相関図を作る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 「故郷の様子」、「ルントウ」、「ヤンおばさん」について、回想の場面と現在の場面とを比べて、描写がどのように変化しているかが分かる部分を、それぞれに抜き出させる。 ・ 「情報整理の方法」(p. 239)を参考にしてもよい。 ・ なぜ、そのように変化したのかについても考えさせる。 ・ 「壁」ができた原因を二人の言動から探させる。 ・ 「私」と「ルントウ」、「ホンル」と「シュイション」の関係などを踏まえて捉えさせる。 ・ 必ず根拠を入れて自分の意見を述べさせる。 【評】 自分の意見を述べる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 「小説を批評する」(p. 112)を通読し、「批評の観点」の事柄について、自分なりの評価を書かせる。 ・ なぜそう評価するのか、学習したことや作品の内容に沿って理由を書かせる。 ・ 自分の知識や経験、考えと比べたり、別の視点や立場から作品を捉え直してみたりして、批判的に読ませる。 【評】 作品を批評する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 友達の批評を読んで、自分の捉え方との共通点や相違点などを基に、考えが深まったことを発表させる。 ・ 今後、小説を読んで自分の考えをもつために大切にしたい観点を挙げさせる。

【評】学習の振り返りを通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

中学校の最終学年にふさわしく、厳しい状況下に置かれた人間の姿を読み取り、読み深めていきたい。表現の工夫に注意して読んでいく中で、人物や作者の心情だけでなく、彼らがそのように感じ、考えた時代背景にも目を向けさせたい。そうした人間と社会との普遍的な関わりについて考えを深め、自分なりの意見をもたせたい。

また、「故郷」は、道徳のD－（22）「よりよく生きる喜び」にあたる。